

就労継続支援 A 型に係る基本報酬の算定区分に関する届出書

事業所名	アグリ.エカロー・虹	
人員配置区分	1. I 型 (7.5 : 1)	2. II 型 (10 : 1)
定員区分	1 21人以上40人以下 2 41人以上60人以下 3 61人以上80人以下 4 81人以上 5 20人以下	
評価点区分	1 評価点が170点以上 2 評価点が150点以上170点未満 3 評価点が130点以上150点未満 4 評価点が105点以上130点未満 5 評価点が80点以上105点未満 6 評価点が60点以上80点未満 7 評価点が60点未満 8 なし (経過措置対象)	
評価点の公表	ネット利用	(公表場所) アグリ.エカロー・虹 ホームページ (URL) https://www.agri-ekaro.or.jp/niji
	その他	

- 注1 厚生労働大臣が定める事項及び評価方法（令和3年厚生労働省告示第88号）に基づき評価点を算出すること。
 なお、別添様式2-1「就労継続支援A型事業所におけるスコア表（全体）」及び様式2-2「就労継続支援A型事業所におけるスコア表（実績Ⅰ～Ⅳ）」も併せて提出すること。
- 注2 評価点区分「なし（経過措置対象）」は、指定を受けてから1年度間を経過していない事業所が選択する。
- 注3 評価点の公表については、インターネットを利用した公表方法の場合は、公表場所と当該公表場所のURL等を、その他の方法による場合は、その公表方法を記載すること。
 なお、公表していない場合は、減算となるので留意すること。

就労継続支援A型事業所におけるスコア表（全体）

事業所名	アグリ、エカロー・虹
住 所	倉敷市老松町4-14-16
電話番号	086-441-0130

事業所番号	3310-201821
管理者名	石澤奈美
対象年度	令和5年度

(Ⅰ) 労働時間

①1日の平均労働時間が7時間以上		40	点
②1日の平均労働時間が6時間以上7時間未満			
③1日の平均労働時間が5時間以上6時間未満			
④1日の平均労働時間が4時間30分以上5時間未満			
⑤1日の平均労働時間が4時間以上4時間30分未満	○		
⑥1日の平均労働時間が3時間以上4時間未満			
⑦1日の平均労働時間が2時間以上3時間未満			
⑧1日の平均労働時間が2時間未満			

①80点 ②70点 ③55点 ④45点 ⑤40点 ⑥30点 ⑦20点 ⑧5点

(Ⅱ) 生産活動

①前年度及び前々年度の各年度における生産活動収支がそれぞれ当該各年度に利用者に支払う賞金の総額以上		5	点
②前年度及び前々年度における生産活動収支のうち前年度における生産活動収支のみが利用者に支払う賞金の総額以上			
③前年度及び前々年度における生産活動収支のうち前々年度における生産活動収支のみが利用者に支払う賞金の総額以上			
④前年度及び前々年度の各年度における生産活動収支がいずれも当該各年度に利用者に支払う賞金の総額以上ではない	○		

①40点 ②25点 ③20点 ④5点

(Ⅲ) 多様な働き方（※）

◎ ①免許・資格取得、検定の受検奨励に関する制度		○	
就業規則等で定めている			
就業規則等で定めており、前年度の実績がある			
◎ ②利用者を職員として登用する制度		○	
就業規則等で定めている			
就業規則等で定めており、前年度の実績がある			
③在宅勤務に係る労働条件及び服務規律			
就業規則等で定めている			
就業規則等で定めており、前年度の実績がある			
④フレックスタイム制に係る労働条件			
就業規則等で定めている			
就業規則等で定めており、前年度の実績がある			
◎ ⑤短時間勤務に係る労働条件		○	
就業規則等で定めている			
就業規則等で定めており、前年度の実績がある			
◎ ⑥時差出勤制度に係る労働条件		○	
就業規則等で定めている			
就業規則等で定めており、前年度の実績がある			
⑦有給休暇の時間単位取得又は計画的付与制度			
就業規則等で定めている			
就業規則等で定めており、前年度の実績がある			
◎ ⑧傷病休暇等の取得に関する事項		○	
就業規則等で定めている			
就業規則等で定めており、前年度の実績がある			
小計（注1）		7	点

（※）任意の5項目を選択すること （注1）8以上：35点、6～7：25点、1～5：15点

(Ⅳ) 支援力向上（※）

◎ ①研修計画に基づいた外部研修会又は内部研修会		○	
参加した職員が1人以上半数未満であった			
参加した職員が半数以上であった			
②研修、学会等又は学会誌等において発表			
1回の場合			
2回以上の場合			
◎ ③視察・実習の実施又は受け入れ		○	
いずれか一方のみの取組を行っている			
いずれの取組も行っている			
④販路拡大の商談会等への参加			
1回の場合			
2回以上の場合			
◎ ⑤職員の人事評価制度		○	
人事評価結果に基づき定期的に昇給を判定する制度を設け、全ての職員に周知している			
⑥ピアサポーターの配置			
ピアサポーターを職員として配置している			
◎ ⑦第三者評価		○	
過去3年以内の福祉サービス第三者評価を受審しており、結果を公表している。			
⑧国際標準化規格が定めた規格等の認証等			
都道府県知事が適当と認める国際標準化規格が定めた規格その他これに準ずるものの認証を受けている			
小計（注2）		7	点

（※）任意の5項目を選択すること （注2）8以上：35点、6～7：25点、1～5：15点

(Ⅴ) 地域連携活動

地域の事業者と連携した付加価値の高い商品開発、企業や官公庁等での生産活動等地域社会と連携した活動を行い、その結果をインターネット等により公表している	○	10	点
--	---	----	---

1事例以上ある場合：10点

項目	点数								
労働時間	5点	20点	30点	40点	45点	55点	70点	80点	40
生産活動	5点		20点	25点		40点			5
多様な働き方	0点		15点	25点		35点			25
支援力向上	0点		15点	25点		35点			25
地域連携活動	0点			10点					10

合計	
105	点 / 200点

就労継続支援 A 型事業所におけるスコア表 (実績 I ~ IV)

(I) 労働時間

前年度 (4年度)

雇用契約を締結していた全ての利用者における延べ労働時間	29,045	時間	雇用契約を締結していた延べ利用者数	7,085	人	利用者の1日の平均労働時間数	4	時間
-----------------------------	--------	----	-------------------	-------	---	----------------	---	----

(II) 生産活動

会計期間 (4月 ~ 3月)

前々年度 (3年度)

生産活動収入から経費を除いた額	17,207,377	円	利用者に支払った資金総額	29,948,243	円	収支	▲ 12,740,866	円
-----------------	------------	---	--------------	------------	---	----	--------------	---

前年度 (4年度)

生産活動収入から経費を除いた額	16,744,051	円	利用者に支払った資金総額	26,245,297	円	収支	▲ 9,501,246	円
-----------------	------------	---	--------------	------------	---	----	-------------	---

(III) 多様な働き方

前年度 (4年度) における実績 (全体表「(III) 多様な働き方」の各項目において「就業規則等で定めており、前年度の実績がある」と選択した場合に実績を記載)

① 免許・資格取得、検定の受検動奨に関する制度

◎ 免許・資格取得、検定の受検動奨に関する制度を活用した人数 名
 ※取得を進めた免許等：
 制度の活用内容：

② 利用者を職員として登用する制度

◎ 職員として登用した人数 名
 ◎ うち1名は雇用継続期間が6月に達している
 ◎ うち1名は前年度末日まで雇用継続している
 ※登用した日 年 月 日
 勤務形態：
 就業時間： 時 分 ~ 時 分
 職務内容：

③ 在宅勤務に係る労働条件及び服務規律

◎ 在宅勤務を行った人数 名
 ※実施した期間： 月 日 ~ 月 日
 就業時間 (在宅勤務)： 時 分 ~ 時 分
 職務内容：

④ フレックスタイム制に係る労働条件

◎ フレックスタイム制を活用した人数 名
 ※実施した期間： 月 日 ~ 月 日
 就業時間 (コアタイム)： 時 分 ~ 時 分
 職務内容：

⑤ 短時間勤務に係る労働条件

◎ 短時間勤務に従事した人数 名
 ※実施した期間： 月 日 ~ 月 日
 就業時間 (短時間)： 時 分 ~ 時 分
 職務内容：

⑥ 時差出勤制度に係る労働条件

◎ 時差出勤制度を活用した人数 1 名
 ※実施した期間： 8月1日 ~ 12月31日
 就業時間 (早出の場合)： 9時00分 ~ 13時00分
 就業時間 (遅出の場合)： 11時00分 ~ 16時00分
 職務内容： 封入封緘作業・ピッキング等

⑦ 有給休暇の時間単位取得又は計画的付与制度

◎ 時間単位取得を活用した人数 名
 ◎ 計画的付与制度を活用した人数 名
 ※取得した制度： 有給休暇の時間単位取得
 計画的付与制度
 取得した期間： 月 日 ~ 月 日
 取得日数・時間 日 時間

⑧ 傷病休暇等の取得に関する事項

◎ 傷病休暇等を取得した人数 2 名
 ※取得した内容： 難病に起因する体調不良
 取得した期間： 5月25日 ~ 5月31日
 就業時間： 9時00分 ~ 13時00分
 職務内容： パソコン業務

(※) 当該制度等を活用した任意の1名の実績を記載

(IV) 支援力向上

前年度 (4年度) における実績 (全体表「(IV) 支援力向上」の各項目の取組ありとした場合に実績を記載)

① 研修計画に基づいた外部研修会又は内部研修会

◎ 研修計画を策定している
 ◎ 研修実施回数 外部8回 / 内部1回
 対象職員数 10 人
 うち研修受講者数 10 人
 ※研修名 内部研修「利用者との向き合い方」
 研修講師 中田社会福祉事務所 中田 雅章
 実施日・受講者数 3月 15日 8人

② 研修、学会等又は学会誌等において発表

◎ 研修、学会等又は学会誌等において発表している回数 回
 ※研修、学会等名
 実施日 月 日
 ※学会誌等名
 掲載日 月 日
 発表テーマ

③ 視察・実習の実施又は受け入れ

◎ 先進的事業者の視察・実習の実施している
 ◎ 他の事業所の視察・実習を受け入れている
 ※ 先進的事業者名 特定非営利活動法人まこと
 実施日 / 参加者数 1月 20日 1人
 ※ 他の事業所名
 実施日 / 参加者数 月 日 人

④ 販路拡大の商談会等への参加

◎ 販路拡大の商談会等への参加回数 回
 ※ 商談会等名
 主催者名
 日時 月 日
 内容

⑤ 職員の人事評価制度

◎ 職員の人事評価制度を整備している
 ◎ 当該人事評価制度を周知している
 人事評価制度の制定日 4年 9月 1日
 人事評価制度の対象職員数 10 名
 うち昇給・昇格を行った者 2 名
 当該人事評価制度の周知方法
 回覧・掲示・会議時に周知

⑥ ピアサポーターの配置

◎ ピアサポーターを配置している
 ◎ 当該ピアサポーターは「障害者ピアサポーター研修」を受講している
 ※ 配置期間 月 日 ~ 月 日
 就業時間
 職務内容

⑦ 第三者評価

◎ 前年度末日から過去3年以内に福祉サービス第三者評価を受けている
 ※ 評価を受けた日 3月 14日
 第三者評価機関
 有限会社アウルメディカルサービス

⑧ 国際標準化規格が定めた規格等の認証等

◎ ISO が制定したマネジメント規格等の認証等を受けている
 ※ 認証を受けた日 月 日
 規格等の内容

(※) 実績のうち1事例を記載





各項目について適宜、実績がわかる情報を追加すること。

就労継続支援 A 型事業所における地域連携活動実施状況報告書

事業所名	アグリ.エカロー・虹
住所	倉敷市老松町4-14-16
電話番号	086-441-0130

事業所番号	3310201821
管理者名	石澤奈美
対象年度	令和4年度

地域連携活動の概要

<p><活動内容></p> <p>活動場所： 倉敷市玉島上成595</p> <p>実施日程： 2017年8月～現在 週5回の作業が基本</p> <p>実施した生産活動： ①プロテクター挿入・②エアアッシー作業、③スプレー塗装のラインの部品並べ等を担い、各部署で生産必要数の達成とものづくりの基本を学ぶ</p> <p>利用者数等： 5～7名</p>	<p><活動の様子></p> <p><組付け作業></p>  <p>整えられた作業台で、品番に必要な治具をセットし組付けを行う</p> <p>部品を治具にセット（固定）して、差し込む側の部品に接着剤をつけて製品を組付けていく</p> <p><袋かけ></p>  <p><エアアッシー></p>  <p><スプレー塗装のラインの部品並べ></p>  <p>ラインが流れる限られた時間の中で2人で協力して、部品ごとに決まった数をプレートに等間隔に並べる油圧リフトを使用し部品の入った箱の準備も行う</p>
<p><目的></p> <p>地域連携活動のねらい： 利用者と地域の接点をつくり、活動の場を広げていく事で住み慣れた地域で自立した生活を実現できる</p> <p>地域にとってのメリット： 企業は業務の最適化・効率化を図るきっかけになり、生産性の向上や多様性のある企業文化・価値創出に繋がり、共生できる住みやすい地域になる</p> <p>対象者にとってのメリット： 社会性や技術を身に付け、成長することができる</p>	
<p><成果></p> <p>実施した結果： 地域企業を通じて地域社会との繋がりを維持できている</p> <p>得られた成果： ものづくりの大変さを実感しながらも、就労意識と技術力の向上により各人が役割と責任感を持てるようになった</p> <p>課題点： 企業と事業所の共存共生を進める中で、品質管理と安定生産の継続に加えて、求められる生産量を増やすためのシステムと人材確保・育成</p>	

連携先の企業等の意見または評価

<p>平素より皆様には、自動車部品の加工（燃料ホース）、塗装業務でお世話になっています。</p> <p>指導員の方の声かけや、業務指導により、利用者の皆さんは正しき確な作業を行えていると思います。</p> <p>おかげ様で皆さんの力は、日々の生産において無くてはならないものとなっており、会社目標に向け共に働く仲間だと感じております。</p> <p>弊社としましても、皆さんのモチベーションアップに繋がる職場環境である様、日々改善に努めていく所存です。</p>			
連携先企業名	ナカハラ・インコム株式会社	担当者名	係長 小川 陽記

就労支援事業活動収支状況確認票

Table with 4 columns: 法人名, 事業所所在地, 事業所番号, 事業所 E-mail, 定員, 前回経営改善計画対象期間, etc.

1 生産活動内容

生産活動収入（売上総額）規模が大きい上位3つを次の番号から選び、全体に占める割合とともに記入すること。

Table showing top 3 production activities: 第1位: 29 (65.1%), 第2位: 施設外作業 (15.3%), 第3位: 21 (10.6%)

Table with 2 columns: Activity Category (1 自主製品, 2 作業, 3 役務提供) and List of activities (e.g., パン系, 加工食品, etc.)

2 生産活動収支の状況（着色セルは入力不要。なお、黄色のセルは別シートの明細書への入力で転記されます。）

(金額単位：円)

Table with 8 columns: 区分, 生産活動収入額, 生産活動必要経費, 生産活動収支, 利用者賃金総額, 延べ労働時間数, 延べ利用者数, 1日の平均労働時間数

Table with 2 columns: 指定基準規則第120条第2項違反の有無 (今期実績) 【G】, 違反している

(指定基準上は、C≧Dが必要)

(注1) 前期実績は、令和3年度に提出した経営改善計画書の「現在の収入額、経費、利用者賃金額」

(注2) 今期実績は、改善計画期間 (R4.4.1~R5.3.31) の実績

- ※1 特定求職者雇用開発助成金等の各種雇用関係助成金は含めないこと。
※2 生産活動に係る経費（原材料費、光熱水費、燃料費等）を計上。利用者賃金は除く。
※3 利用者賃金は、賃金、給与、手当、賞与その他名称を問わず、事業者が利用者に支払う全てのものをいう。
※4、5 延べ労働時間数・利用者数の算出要件は、H30年度からの基本報酬算定区分の考え方と同様。

● 別添様式の就労支援事業別事業活動明細書等(表1~表3が基本、実態により表2、3に替えて表4)を添付のこと。

3 利用者賃金総額の他会計からの充当状況（2【G】欄が「違反している」場合に記入）

（金額単位：円）

他会計からの 充当額	その 内訳	種類	訓練等給付費	特定求職者 雇用開発助成金	その他助成金等 （報奨金）	法人からの充 当額	その他 （ ）	
9,501,246		充当額	4,301,246			5,200,000		
		受給総額	43,387,660			5,200,000		

4 国の経営改善3要素の状況（入力不要）

生産活動に係る事業の収入額が増加している	基準を満たさない	①収益改善	あり
生産活動に係る事業に必要な経費が減少している	基準を満たす		
② 生産活動に係る事業の収入額が利用者に支払う賃金総額以上	基準を満たさない		
③ 利用者の平均労働時間	長くなっている		

5 経営改善取組状況

経営改善のための取組状況を詳細かつ具体的に記載すること。 ※ 必要に応じて行を挿入すること。

【経営改善計画の数値目標の達成状況】
『就労支援事業会計のガイドライン』に従い集計した結果、計画の見込み収入額は未達だったが、生産活動収支は前年度を上回ることができた、パソコン事業では公共事業収入が大幅に増えている。
【改善に向けての基本方針、具体的な取組内容】 ※ 各視点ごとに記入のこと
<p>（1）事業収入増加の視点</p> <p>①施設外就労先を、大半の利用者が関われるという観点と経費の削減の観点から変更をした。新規の企業において現在は大幅な収益に直結するには至っていないが今後見込まれる。2017年8月より継続中の企業においては一律25%Upの価格改定をしてくれた。</p> <p>②屋内の定期清掃は受注できなかったが、コーポの定期清掃は雨天でも施行でき、安定した収入となっている</p> <p>③賃金向上達成指導員が公的機関の作業受注に尽力した結果、大口の受注に至った。</p> <p>（2）経費削減の視点</p> <p>事業会計の燃料費が収入割合で按分計算されていたり、細かい分類がなされずに雑費として計上されていたので、分析に基づく改善計画がたてにくかった。第三者評価を活かしてR5年度に向けて経営改善ができるように、経理方法の改善を手掛けた。</p> <p>（3）組織マネジメントの視点</p> <p>外部講師を招いての社内研修を開催し、指導員の質の向上・職員間の意識統一・指導方法や個別支援内容の共有により、生産性の向上と利用者（障がい特性）の理解に繋げる事が出来た。今年度からは年3回開催し、組織力の向上と生産収益向上に役立てていきたい。</p>
【取組の評価（計画どおり進まなかった場合、その原因や要因分析）】
営業強化目的で採用した職員が離脱したことにより、一部の改革が頓挫した。世界情勢により、顧客の事業投資が低迷したため、広告や宣伝にお金をかけない出し渋りの傾向も否めない。そのなかで、公共福祉事業団の冊子作製等の受注はありがたかった。基盤が整いつつある中で生産性の向上と効率Upに重点を置いて経営改善を進めていきたい。
【新型コロナウイルス感染症及び平成30年7月豪雨等の災害が今後の事業活動に影響を及ぼす場合、その内容】
各々のコロナの影響は段々と減少してはいるが、今年度の実績に於いては世界情勢の不況とあわせて事業活動（特にパソコン事業の受注内容）と利用者・支援員の感染や家族の感染で欠勤を余儀なくされたことにより生産量に影響している。

(表1) 就労支援事業別事業活動明細書

就労支援事業の年間売上高が5,000万円以下であって、多種少額の生産活動を行う等の理由により、製造業務と販売業務に係る費用を区分することが困難な事業所

事業所名 アグリ. エカロー・虹

自 令和4年4月1日 至 令和5年3月31日

(金額単位:円)

勘定科目		合計	パソコン作業	施設外作業	清掃作業	内職作業	ポストイング作業
収益	就労支援事業収益	23,087,065	15,035,665	3,529,914	2,448,244	1,879,642	193,600
		0					
	就労支援事業活動収益 計	23,087,065	15,035,665	3,529,914	2,448,244	1,879,642	193,600
費用	就労支援事業費	32,588,311	8,201,500	10,258,908	6,046,684	7,532,699	548,520
	期首製品(商品)棚卸高	0					
	当期就労支援事業製造原価	32,588,311	8,201,500	10,258,908	6,046,684	7,532,699	548,520
	当期就労支援事業仕入高	0					
		0					
	合 計	32,588,311	8,201,500	10,258,908	6,046,684	7,532,699	548,520
	期末製品(商品)棚卸高	0					
	差 引	32,588,311	8,201,500	10,258,908	6,046,684	7,532,699	548,520
	0						
	就労支援事業活動費用 計	32,588,311	8,201,500	10,258,908	6,046,684	7,532,699	548,520
	就労支援事業活動増減差額	▲ 9,501,246	6,834,165	▲ 6,728,994	▲ 3,598,440	▲ 5,653,057	▲ 354,920

※ 多種少額の生産活動を行う等の理由により、作業種別毎に区分することが困難な場合は、作業種別毎の区分を省略しても可

※ 製品(商品)を仕入れて販売しない(製品等の棚卸管理を行わない)事業所については、期首・期末棚卸高、仕入高への計上は不要

(表4)就労支援事業明細書

- 就労支援事業の年間売上高が5,000万円以下であって、多種少額の生産活動を行う等の理由により、製造業務と販売業務に係る費用を区分することが困難な事業所

事業所名 アグリ. エカロー・虹

自 令和4年4月1日 至 令和5年3月31日

(金額単位:円)

勘定科目	合計	パソコン作業	施設外作業	清掃作業	内職作業	ポスティング作業
I 材料費						
1. 期首材料棚卸高	0					
2. 当期材料仕入高	0					
計	0	0	0	0	0	0
3. 期末材料棚卸高	0					
当期材料費	0	0	0	0	0	0
II 労務費						
1. 利用者賃金	26,245,297	2,516,478	10,042,284	5,842,642	7,403,495	440,398
2. 利用者工賃	0					
3. 就労支援事業指導員等給与 ※	0					
4. 就労支援事業指導員等賞与引当金繰入 ※	0					
5. 就労支援事業指導員等退職給付費用 ※	0					
6. 法定福利費	0					
当期労務費	26,245,297	2,516,478	10,042,284	5,842,642	7,403,495	440,398
III 外注加工費	0					
(うち内部外注加工費)	0					
当期外注加工費	0	0	0	0	0	0
IV 経費						
1. 福利厚生費	0					
2. 旅費交通費	14,530	9,463	2,222	1,541	1,182	122
3. 器具什器費	0					
4. 消耗品費	23,052	986	6,534	15,532		
5. 印刷製本費	0					
6. 水道光熱費	0					
7. 燃料費	446,789	45,579	193,712	122,024	85,474	
8. 修繕費	0					
9. 通信運搬費	9,401	9,401				
10. 受注活動費	0					
11. 会議費	0					
12. 損害保険料	0					
13. 賃貸料	0					
14. 図書・教育費	0					
15. 租税公課	0					
16. 減価償却費	0					
17. 雑費	5,849,242	5,619,593	14,156	64,945	42,548	108,000
当期経費	6,343,014	5,685,022	216,624	204,042	129,204	108,122
当期就労支援総事業費	32,588,311	8,201,500	10,258,908	6,046,684	7,532,699	548,520
期首仕掛品棚卸高	0					
合計	32,588,311	8,201,500	10,258,908	6,046,684	7,532,699	548,520
期末仕掛品棚卸高	0					
就労支援事業費	32,588,311	8,201,500	10,258,908	6,046,684	7,532,699	548,520

※ 「就労支援事業指導員等」は、指定基準を超えて専ら就労支援事業に従事するものとして雇用している従業員で、公費(訓練等給付費)で評価されている職員は、「福祉事業会計」で処理する。

※ 必要に応じて、勘定科目を追加のこと